

大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m³あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)	
		10/16-23	10/23-30
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.270
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.043
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.014
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.083
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.025
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.021
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.026
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.049

測定地点		放射能濃度 (mBq/m ³)	
		10/16-23	10/23-30
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出
		セシウム137	0.025
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出
		セシウム137	不検出

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m³の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己 京都大学名誉教授
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説 ●

第120回目
大気浮遊じん放射能測定結果の解説
(2019年10月16日～2019年10月30日)

今回も大気浮遊じんのセシウム137濃度の平均値は0.053mBq/逢と極めて低い値で健康影響を心配することはありません。この10年間、自然災害や原発事故災害で心が落ち着く暇がなかったと思いますが、少しずつ日常の生活が戻ってきている方もいるのではないのでしょうか。平常心を戻すために何が有効だったか、この時期に振り返ってみてはいかがでしょうか。経験を次世代に伝えることで、同じ過ちを防ぐとともに、未知の出来事に遭遇した際に立ち向かう手がかりにもなることでしょう。人が動物と根本的に違う能力を持っているとすれば、私は、世代を超えて知識を継承し、経験していないことにも立ち向かえる能力だと思います。